

DNT弾性フィラー液テクトMAX

- 1.一般名 可とう形合成樹脂エマルジョン系改修用仕上塗材
- 2.規格表示等
- 2-1.規格表示 —
- 2-2.ホルムアルデヒド放散等級分類記号 F☆☆☆☆
- 3.特長
- 1)塗膜に適度な弾性があり、下地の小さなクラックに追従する。
 - 2)各種既存塗膜に対する付着性がよい。
 - 3)塗装条件を変えることにより、種々のパターン仕上げができる。

4.塗料性状^{※1}

項目		内容		
容姿		1液性		
荷姿		16kg		
色相		白系		
光沢 ^{※2}		つや消し		
密度 (23°C)	塗料	1.55±0.1		
	揮発分	1.00		
粘度(23°C)		220~260PS (リオン粘度計/No.2ローター)		
加熱残分		68.0~72.0%		
乾燥時間	温度	5°C	20°C	30°C
	指触	5時間	2.5時間	1.5時間
	半硬化	8時間	5時間	3.5時間
標準膜厚		—		
引火点		SDS参照		
発火点		SDS参照		
爆発限界(下限~上限)		SDS参照		

※1上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

5.塗装基準

項目		内容		
下地処理		素材表面の油分、汚れ、埃等を除去し乾燥した清浄な面とする。		
調合法		—		
熟成時間		—		
可使時間		—		
塗装方法		ローラー、スプレー		
希釈剤		水道水		
塗装法	塗装方法	リシガン	ローラー	多孔質ローラー
	希釈率	3~5%	5~9%	1~2%
	標準使用量	0.7~1.2kg/m ² /回	0.3~0.5kg/m ² /回	0.8~1.5kg/m ² /回
	標準膜厚	—		
ウエット管理膜厚		—		
塗装間隔	温度	5°C	20°C	30°C
	最小	16時間	8時間	6時間
	最大	7日	7日	7日

注)標準使用量は実測値に基づき算出しています。
また被塗物の形状などにより標準使用量は変動いたします。

6.施工上の注意

- 1)十分攪拌し均一な塗料状態にしてから塗装する。
- 2)希釈は必ず指定された希釈剤を使用する。
- 3)気温が5°C以下での施工及び保存は避ける。
- 4)降雨、降雪の恐れのある場合及び強風時の塗装は避ける。
- 5)下地の汚れ、粉、ゴミ等は十分除去してください。
- 6)新設面には、下地の状態によってシーラーの必要な場合があります。
- 7)塗料の厚塗り及び水希釈の多い条件では、初期乾燥時のひび割れの発生する恐れがあります。
- 8)溶剤系塗料の上塗適性に優れていますが、施工条件によってはリフティングを発生する場合がありますのでご注意ください。
(溶剤系上塗材のシンナー過希釈等)

8.使用上の注意[警告]

使用上の注意の詳細は容器ラベルに表示

7.関連法規則

危険物表示	—
有機溶剤区分	—
有害物質表示	SDS参照
劇物表示	—